



# 青少年赤十字サポートプログラム（出前講座）

## 活動のようす



### 救急法

一次救命処置（心肺蘇生・AEDを用いた除細動）や簡単なけがの手当てなどの実技を中心に学習します。

### 福祉体験学習

車いす体験やアイマスク体験など、介護が必要な人へのお世話をする為の知識と技術を学習します。



### 非常食体験

ハイゼックスという特殊な袋を使ってご飯を炊く炊き出しの体験学習を行います。



加盟校については、サポートプログラムの費用は発生しません。

まずは、お気軽にお問合せください。



お問い合わせ

日本赤十字社 福岡県支部  
組織振興課 青少年・ボランティア係  
TEL：092-523-1632 FAX：092-521-2552



## 青少年赤十字サポートプログラム

～学校や園の教育活動(各教科など)で活用できる学習プログラム(出前授業/見学)～

### ※ 出前授業(講座)/授業支援

No.	項目	内容
1	JRC加盟登録(更新)式	JRC新規加盟校には加盟登録式、加盟継続校には加盟登録更新式を要望に応じて実施。日赤職員が救護服を着て参加し、活動目的など児童生徒の意識を高める。
2	救急法	一次救命処置(心肺蘇生・AEDを用いた除細動)や学校でのけがや熱中症などの処置について、実技を中心に学習する。
3	水上安全法(着衣泳)	自分が溺れないための技術(着衣泳体験と衣類等の活用)、泳がないで救助する方法や水の事故を防止するための方法を学習する。
4	幼児安全法	幼児(1歳～6歳)に起こりやすい病気の対応と、事故の予防や応急手当を学習する。
5	健康生活支援講習/福祉体験学習	介護が必要な人のお世話の仕方の知識と技術を学習する。車いすの介助方法や目の不自由な方への支援等について体験的学習をする。
6	防災教育	自然災害に関する知識を正しく理解し、自らの命を守る力を身につけるとともに、防災意識を高め、いのちの大切さ、他者を思いやる心を育てる。
7	①災害時にできること ②非常食体験	災害時にできること、知っておくと役に立つこと。(例:ホットタオル、ガウン、等々)特殊な袋(ハイゼックス)を使いご飯を炊いたりする、災害時の非常炊き出し体験学習
8	募金の話	義援金・救援金や青少年赤十字1円玉募金などの内容や、集められた募金の使われ方等について学習するとともに、募金活動をする際の注意なども学ぶ。
9	献血の話	なぜ献血が必要なのか。また献血で集められた血液がどのように生かされているのか等、献血の大切さを中心に学ぶ。
10	看護師の話	福岡赤十字病院の看護師(国際救援・開発協力要員)等の海外派遣事業等での体験談をもとに、いのちの大切さ、国際理解・親善の大切さについて学ぶ。
11	地雷の話	地雷模型やパネルを使いながら現在の地雷の状況について知るとともに、自分ができることなどについて考える。
12	トピックアルバム	国際理解・親善の一つのツールであるトピックアルバムについて知るとともに、グループで協力して実際にトピックアルバムを作成する。
13	赤十字活動	世界各国にネットワークを持つ赤十字のおこり、人道の実現のために活動する赤十字の活動などについて、総合的に学習する。
14	国際人道法	ジュネーブ条約をはじめとする国際人道法。なぜ、国際人道法が必要なのかを学ぶ。
15	国際理解	世界で生きる子どもたちの様子を学習し、青少年赤十字のメンバーとしてできることを考え、目標のひとつである国際理解・親善の深化を図る。

### ※ 見学・体験授業(講座)

No.	項目	内容
1	日本赤十字社福岡県支部(福岡市)	福岡県における赤十字の拠点である日本赤十字社福岡県支部の見学。 ・支部における学習 (内容は赤十字、青少年赤十字、救護派遣、救急法等一講話や映像視聴) ・救急法の実技講習(希望に応じて実施) ・救護倉庫見学(備蓄している緊急支援物資、緊急車両等)
2	九州ブロック血液センター(久留米市)	病気の治療、手術などで輸血を必要とする人を救うため、ここで安全な血液製剤にして、24時間必要とする医療機関へ届けている。九州各県で献血された血液が、九州ブロック血液センターに集められ、どのように安全に精製され、病院に届けられるのかを学習する。(久留米にある血液センターに見学依頼)